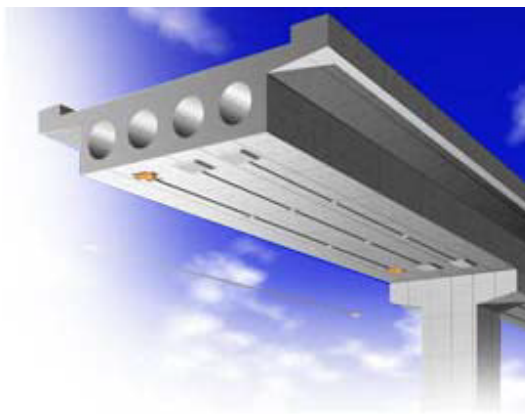


## アウトプレート工法

CFRPプレート緊張接着による  
既設コンクリート構造物の補強工法

アウトプレート工法は、両端に定着体を有するプレハブCFRPプレート(アウトプレート)を緊張して、既設コンクリート躯体に固定、接着する補強工法です。

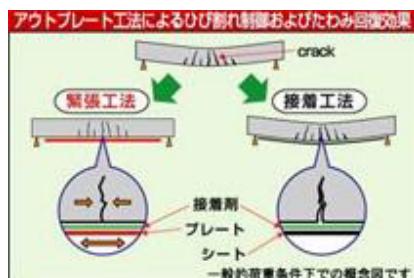
従来の連続繊維シート接着工法に比べ、アウトプレートを緊張することにより、コンクリートにプレストレスを導入することが可能で、少ない補強材量で大きな補強効果を得ることができます。緊張材として薄いCFRPプレートを使用しているため補強後の外観形状、断面変化がほとんど無く、特にRC・PCホロースラブ橋の施工に適します。



## アウトプレート工法の特徴



通用概念図  
ホロースラブ橋への適用概念図詳細へ



アウトプレート緊張装置

### 高い曲げ補強効果

終局曲げ耐力の向上、鉄筋応力度の低減

### 高いひび割れ制御効果

既存ひび割れを閉じ、ひび割れ発生荷重を向上させる

### たわみの回復

死荷重に対しても有効

### 耐久性の向上

ひび割れ拘束による有害物質の浸透抑制、疲労耐久性の向上

### ミニマムメンテナンス

腐食しないCFRPを採用、定着体には十分な防錆措置を講じる

### 連続桁の支点上の補強が下面から可能

プレストレスによる二次モーメントの有効利用

本工法は、ドーピー建設工業(株)、コンポジットカンパニー、(株)国際建設技術研究所の共同で開発致しました。